

Rotary

奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2924号 2021年9月21日(晴れ) 第11回例会 会員数113名

## オンライン例会

点 鐘 倉井 章会長  
司 会 副SAA 石田会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

※マスクを着用し、心の中で斉唱



## ビジター紹介

渡邊和裕幹事

◇宇都宮東ローターアクトクラブ(RAC)

会長 盛合<sup>ひでかつ</sup>一功様(卓話講師)

◇宇都宮市 市民まちづくり部 生活安心課

伊澤 徹 様



## 会長挨拶

倉井 章会長

皆様、こんにちは。栃木県は20日、新たに27人が新型コロナウイルスに感染したと発表しておりますが、新規感染者が30人を下回るのは7月20日の20人以来2ヶ月ぶりのようです。新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に減少傾向にあり、第5波はピークアウトの様相を呈している感じですが、この3連休の日光、那須方面の県内外からの車の渋滞、人出の賑わいを見ますと、これから冬にかけて第6波の到来が心配です。都内では、すでに8月から高齢者の感染が再び増え始め、2回目のワクチン接種後に感染するブレークスルー感染も確認されているようです。皆様におかれましては、ワクチン接種にかかわらず、ソーシャルディスタンス、マスク、換気に気をつけて、感染予防対策を徹底して頂ければと思います。

9月の第1例会でお話しましたが、今月は基本的教育と識字率向上月間及びロータリーの友月間です。ご承知の方も多いと思いますが「ロータリーの友」は、1952(昭和27)年7月に迎える新

年度(1952-53年度)から、日本の地区を東日本と西日本の2地区に分割されるにあたり、日本の2地区で共通の雑誌を発行し、これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されたものです。1953年1月号創刊号を「ロータリーの友」と命名し、毎月発行すること、価格を50円とするが広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、新しい雑誌を横書きにすることが第1回の準備会で決められました。創刊号は富士山の表紙で、1月号から6月号まで絵柄は全く同じもので、葛飾北斎の「凱風快晴」という題の作品です。「富嶽三十六景」全46図中の1図で「赤富士」と呼ばれるものです。表紙の写真や絵が毎月替わるようになったのは、創刊翌年の4月号からです。最初、横書きでスタートした「ロータリーの友」ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合が悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになり、1972(昭和47)年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。皆様もご覧になっていると思いますが、左に開けると横書き、右に開くと縦書きという形の雑誌になり、両面になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を活かした面白いものになっています。1977年、標準ロータリークラブ定款第10条(現14条)の改定に伴い、公式地域雑誌の規定が設けられ、ロータリアンは、国際ロータリー(RI)の機関誌「The Rotarian」だけでなく、RIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。「ロータリーの友」は、1980年7月号からRI公式地域雑誌になりました。

ロータリアンとしての三大義務は、会費の納入、例会への出席、ロータリー雑誌の購読でありま

す。ロータリーの友の横組は「The Rotarian」の中から世界のロータリアンに向けた記事の日本語訳が掲載されており、縦組には日本国内のロータリークラブに関連した記事が記載されています。「ロータリーの友」を読むことにより、日本、世界のロータリアンと情報を同時に共有することができます。「ロータリーの友」ほど、良く読みこんでいる人と、全く読まない人が分かれる雑誌はないと思います。会員の皆様「ロータリーの友」の購読はロータリアンの義務ですので、必ずお読み頂きたいと思います。また、先週より宇都宮東ロータリークラブの会報誌をメールアドレス登録会員にPDFで送信を始めました。こちらの方もお読み頂ければと思います。

本日は、宇都宮東ローターアクトクラブ盛合会長に卓話をお願いしております。本年度のクラブ活動方針及び活動計画をお話して頂きたいと思えます。盛合会長、よろしくお願ひいたします。



### 幹事報告

渡邊和裕幹事

#### ◇第2550地区2021～22年度地区大会について

22日の記念ゴルフ大会および23日会長幹事会、歓迎晩餐会は中止、24日の本会議はオンライン開催で真岡会場への出席は会長、幹事のみ。

◇塚田元会員より退会時に医療従事者へ寄付して欲しいとのことで30万円預かりました。理事会で検討し、当クラブから20万円拋出し、合わせて50万円を医療従事者への支援ということで下野新聞社に渡すことになりました。

◇ガバナー事務所より佐賀・長崎豪雨災害支援金のお願ひ 理事会で検討し、スマイルBOXより会員一人当たり千円の支援金が決定。

◇9月28日例会も完全オンライン例会。

### 「3分間スピーチ」

副SAA 山下大介会員

こんにちは。副SAAの山下です。簡単な自己紹介をさせていただきます。

宇都宮東ロータリークラブには2017年11月に入会致しまして現在4年目になります。私は生まれも育ちも宇都宮で、高校まで宇都宮で過ごしました。高校を卒業し、プロボクサーになる為に上京して、約5年間ボクシング中心の生活をしていました。引退して宇都宮に戻り、塗装職人、営業マンを経て、現在、業務用空調設備の工事、メンテナンスや、病院、ホテル等の設備管理、清掃管理を主とした会



社をやっております。法人成して現在9年目になります。私のようなボクサー崩れでも何とかここまでやってこられたのは、私の根底にはボクシングがあり、プロでやってきたことが糧となっています。それを武器の一つに何とかここまで生き延びてこられました。それは、減量が苦しかったとか、殴られて痛かったとか、そんなことではなく、真剣勝負に勝つことは大変な事で、舐めてかかれば必ず痛い目に遭うということです。現役時代、ノックアウトで連勝していい気になり、舐めてかかった次の試合で手痛い敗戦を喫したことがありました。試合中、力のこもったパンチが相手の顎に入っても、舐めてかかっているからパンチ自体に気も殺気もこもってなく、相手は倒れませんでした。この敗戦は私のボクサー人生に大きく影響しましたが、ただ、今となってはあそこで負けて挫折を味わっておいて良かったと思っています。この出来事から、物事に全力で取り組むことの大切さを学び、今、自分の商売に置き換えて考え、どんなに仲良くして頂いているお客さんでも、決して気を緩めず、舐めず、驕らず、常に正面から全力でお客さんと向き合うことを心掛けています。

ロータリーの方も、今年度はインターアクト委員長を拝命頂きましたので、こちらも全力で取り組んでいきたいと思っております。余談ですが、もしボクシングを生観戦してみたいという方がいらっしゃいましたらご案内しますのでお気軽にお声かけください。

※次回3分間スピーチは中山靖之会員

### 「ポール・ハリスとロータリー」 動画鑑賞

— 第2章 5カ年の「愚行」(後半) —

※ロータリーの友HPのアニメーション動画配信より



### 卓話

「ローターアクトの活動報告について」

宇都宮東RAC会長  
盛合一功様



皆様、こんにちは。貴重な卓話のお時間をいただきありがとうございます。私は、ローターアクトクラブに入ってから5年目になります。現在、宇都宮東ローターアクトクラブ会長で、地区代表も務めております。本日は「湯船を洗い、背中を流し、酒を片手に語り合う」と題して発表いたします。はじめにRAC

の現状、次に活動紹介、そしてご案内をさせていただきます、私達との距離を縮め、相互理解に繋がりたいと考えております。

－ パワーポイントにて説明 －

## 1. 宇都宮東ローターアクトクラブの現状

バケツに水を注いでいるとバケツの底に穴が空きました。A「穴をふさぐ」B「水をもっと注ぐ」「Cなにもしない」のどの対応をしますか。これは、私が考えているローターアクトクラブの現状で、バケツがローターアクトクラブ、水が会員を指しております。国際ロータリーが提唱した対策としては、年齢制限を排除することで穴をふさぎました。宇都宮東ロータリークラブ、ローターアクトクラブの対応としては、さらに水をそそぐ、人を増やすことに力を入れ、今年は8名増加して12名で活動を行なっております。私自身の考えとしましては、穴を小さくして、少し勢いのある水を注ぐ必要があると考えています。

現状としては、クラブ形態は地域社会基盤で、会長は私、幹事はテット チャンソティアで二人とも宇都宮大学の大学院生です。会員は12名(学生8、社会人3、OB1)で、男性9名、女性3名の構成です。具体的な活動内容は、空き家の改修、カンボジア学習支援、児童養護施設支援活動です。児童養護施設支援は持続的に養徳園の支援活動を行なっています。現在会員が増え、順調に見えますが、2021年4月には「解散」を決意した時期もありました。なぜ解散かという、会員が少ないからではなく、会員のモチベーションが低いからでした。めんどくさい、やりたい事・得たい経験ではない、お金にならないというところで、会員のモチベーションが下がっていました。「やるなら、やる。やらないなら、やらない。」こうしたぬるさこそが、めんどくささに変わっているのではないかと感じました。ちなみに私は今でも、いつ解散してもおかしくない現状があると考えています。皆様にもこの現状を知っていただきたいと思っています。

新会員に、なぜ宇都宮東ローターアクトクラブに入ったのか聞いてみました。「怪しい宗教、ビジネスの勧誘かと疑った。しかし、空き家改修に興味があった」「RCとの繋がりのため。また、空き家の活動に興味があった」「代表に言われたから」「代表に推薦されたから」との話がありました。このようなことから、今後、持続的にクラブを広げる、会員を増やす、活動を面白くしていくためには、活動で魅せていく必要があります。そして、能動的な会員になることです。数が増えるだけでは将来不安です。そこで、今年度は、会員にできるだけ能動的に活動してもらい、そして、会員の活動を地域、社会にみせていく必要があると考

え、新たに、空き家改修やカンボジアの学習支援といった活動を考えました。私の考えを4つ述べたいと思います。

- ①なぜRACが必要か知りたい そして、心から必要性を感じた人で続けていくべき。今後の持続性にも繋がる。
- ②持続していくためには社会人会員3名では少なすぎる 学生は卒業したら宇都宮を離れるかも
- ③人を増やすなら魅力的な活動をすべき 人が増えていないのなら、それは活動に問題がある
- ④WIN-WINの関係がないと続かない 下心剥き出しで活動しても良いのでは

## 2. クラブ活動(足場を固め、発信する)

### (1) カンボジア学習支援

キャッチボール出来る国際支援ということで、カンボジアと日本の奨学生を繋ぐ活動を行なっていきたいと思っています。ローターアクトでは、お金や物をあげるという一方的な投げかけではなく、カメラ、楽器、文房具等をカンボジアの小学生にプレゼントし、そのカメラで撮った子供達の写真や子ども達が現地で描いた写生を日本の小学生に紹介していきたいと思っています。私達がファシリテーターとなり、国際間を繋げることで、少しでも多くの子供がハピネスを感じる活動をしていきたいと考えています。カンボジアのNGO団体との連携も考えております。なぜカンボジアかという、幹事のテット チャンソティアがカンボジアに帰るときに自費で文房具を買い、地元の子供にプレゼントしており、その活動をローターアクトでもやりたいと思いました。ローターアクトだけでなく、ロータリークラブとも協働しながら進めていくことが持続的な活動になるのではないかと、私は考えております。

### (2) タキヤプロジェクト

タキヤprojectは、民間団体「宇都宮東ローターアクトクラブ」官民連携団体「宇都宮空き屋会議」学生団体「toRInosu」の3者協働のプロジェクトです。宇都宮市にある今は空き店舗になっている元酒屋(タキヤ)を地域のコミュニティイベントスペースにします。地域の方々だけではなく、企業や個人から協賛を募り、地域の人達で地域の場所をつくっていくプロジェクトです。タキヤには現在、酒瓶、パレット、酒ケースしかありません。ここから皆で1つの形を作って、共にお酒を飲み交わせる日を楽しみに願っています。

.....  
**宇都宮空き屋会議 事務局 伊澤 徹様より一言**  
宇都宮空き屋会議という組織は、不動産、造園、建設、放送、大学、NPOと各種多様にわたる団

体から構成する官民連携組織です。空き家の改修や空き家を地域の活性化に活用する取り組みを進めています。タキヤprojectは単に空き家を改修、活用だけでなく、若い方々と一緒に活動するという事は、空き家ハブとして、まちづくりの人材を育成するという視点も盛り込んでこの事業に取り組んでいます。熱い思いと行動力に期待しております。行政も影ながらサポートし、この事業を推進したいと考えております。

.....

この場所は学校の近くにあり、地域の人々にも親しまれていましたが、20年前に使われなくなっていました。地域の拠点にして欲しいという大家さんの意向のもと、私達が使わせていただいております。様々な方から協賛を頂きながらプロジェクトを進めていきます。協賛の内容は、お金も大事ですが、地域の人達が気軽に提供できるものを、アイデアを使って形にしていく、というスタイルをとっています。具体的には工務店の方から、芝生や木材などいただき、また、一般の方から炬燵をいただきました。宇都宮東ローターアクトクラブ、宇都宮空き屋会議、toRInosuの3者を通じてリノベーションを行なっています。利用、協力という形で、企業、学生団体、住民、大学など、関係を結んでいければと考えています。ローターアクトクラブとしては、留学生に居場所がないため、留学生が交流できる場所を作りたい、地域の小学生と学生・留学生の交流の場にしたいと考えています。家具や家電、建築材料、人・知恵・アイデア、缶コーヒー・おやつ、その他タキヤのためになるものであれば、なんでも私達は受入れ、知恵を絞って使おうと考えています。活動の様子をFacebookで発信していますので、興味のある方は「タキヤproject」で検索をお願いします。

このタキヤprojectは、空き家の再価値化を社会奉仕活動、留学生の居場所づくりを国際奉仕活動と考えています。場所の使い方によっては、学習支援も心のケアも可能です。我々ロータリーファミリーの特徴であるグローバルな視点が

最も活きる場所になり得ます。そして、宇都宮東ロータリークラブと宇都宮東ローターアクトクラブの活動の象徴になり、我々の発信拠点になります。「地区補助金制度」でタキヤprojectを応援しませんか。

### 3. ご案内

#### 第47回ローターアクト地区年次大会の案内

地区年次大会は「未来につなぐ」というテーマのもと、11月28日(日)の午後、ハイブリッド形式での開催を考えています。メインプログラムは「未来の災害に備える」です。

#### 全国一斉献血の案内

人間を救うのは、人間だ—Oue World Your Move.—ということで、大阪ローターアクトクラブが主催をして、全国のローターアクターに呼びかけを行ない、全国で一斉に献血をおこなうというプロジェクトです。開催予定日は令和4年2月20日(日)です。場所は、宇都宮市のベルモールを予定しています。献血だけでなく、広報活動も行ないたいと思っています。

今、ローターアクトクラブは、かつてないくらい勢いを持って活動しております。このモチベーションを維持するためにも、ロータリアンとの連携、協力は必須です。私は、皆さんとローターアクトクラブの仲間と共に、衣を脱ぎ「風呂に入りたい」です。湯船を洗い、背中を流し、酒を片手に語り合う。そんな日が来ることを願っています。

